

令和6年度事務事業評価表

事務事業名	助け合い活動経費支援			担当課	企画総務課	事業種別	自主
				担当係	企画総務係		
開始年度	平成31年度	計画体系	2 住民同士のたすけあいの輪を広げます ⇒ (1) 地域支えあい活動の充実				
根拠法令等	助け合い活動経費支援に関する要綱						
事業区分	事業	社会福祉	拠点	地域福祉事業	サービス	地域福祉事業	
事務事業目的	地域を主体とした福祉活動の促進を目的とする						
実施内容	地域のたすけあい活動により生じた経費について、申請により補填するもの 【補填する経費】 (1) 安否確認を行うため、やむを得ず窓や鍵を壊し、自ら家屋に入った場合の修繕費 (2) 病院への緊急搬送が必要となり、救急車に同乗を求められた場合、病院から自宅へ帰るための交通費 (3) 助け合い活動を行う中で、やむを得ず立て替えた経費 【補填の限度額】 1件につき30,000円を限度とする 【申請方法】 申請書に必要事項を記入し、領収書と口座振替依頼書を添えて経費の補填を申請する						

指標		指標の根拠	単位	区分	R3	R4	R5
—	経費の補填件数	—	件	目標	12	12	12
				実績	0	0	0
—	相談件数	—	件	目標	12	12	12
				実績	0	1	2
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

備考	
----	--

コスト内訳(千円)			R3	R4	R5
収入	特定 財源				
	一般財源 (a)		151,900	156,920	34,750
支出	事業費 (b)		0	0	0
	職員人件費 (c)		151,900	156,920	34,750
		業務量(人)			
	間接費 (d)		0	0	0
	調整額 (e)		0	0	0
		退職給与引当	0	0	0
			0	0	0
			0	0	0
		(控)コスト対象外	0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)			151,900	156,920	34,750

単位当たりコスト(円)	R3	R4	R5
単位の定義			
実績数値 (g)	0	0	0
単位あたり社協単コスト (a/g)	—	—	—
単位あたりコスト (f/g)	—	—	—

実施状況に対する評価	問い合わせはあるものの、事業所(区・包括・警察等)が立ち会い対応するケースが多く、補填の対象とならないことが多い。そのため、事業開始後、実績はない状況である。
今後の方向性 【改善】	引き続き、合同民児協等で自治町会連合会や民生委員児童委員へ事業周知を行っていくとともに、個別に状況を確認し、対象となる方が支援を行った場合には、申請・利用につなげられるようにしていく。 なお、過去の相談内容を確認すると、“事業所は対象外であること”や“どのような時に申請できるか”が、分かりにくいという相談が寄せられていることから、要綱以外にも例を示した資料を作成し、地域支えあい活動を推進できるよう図っていく。